



# 学校だより

東京都立府中けやきの森学園  
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1  
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476  
<https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp>  
令和7年3月25日(火)発行 第14号

## 多様性ある学び舎

校長 相賀 直

3月19日の高等部卒業式、24日の小学部・中学部卒業式では、それぞれの学部の全課程を修了した卒業生が、誇らしげな顔をして巣立っていきました。在校生は、卒業生の残してくれたものを財産に、これからの学校生活をより良いものにしていってほしいと思います。

本校はとても大きな学校で、年齢層も教育部門も幅広く、一人一人違った400名余りの多様性に満ちた児童・生徒が学んでいます。基本的な生活習慣、教科学習、勤労観や職業観など、共通に身に付けなくてはならないことは、皆しっかりと学びます。しかし、それをどのようにとらえ、どのように生かしていくかは、一人一人異なります。

多様性といえば、どこにでもある土の中には、1グラム中10億もの微生物が棲んでいるそうです。その中には有益なものも、病気を引き起こすヤンチャなものもいます。まだ働きがよくわからないものもたくさんいます。それらは、お互いに関わり合って、連鎖しています。もし土中に微生物がいなかったら、土の上を覆い積もる落ち葉などは永遠に分解されず残ってしまいます。学校教育でも子供たち一人一人に異なる願いやニーズがあります。子供たちの自己実現に向け、基礎・基本を土台に、子供たち自身の試行錯誤を支援していくのが教員の務めです。

本校の今年度の学校評価では、「個別指導計画において、各学習の目標やねらい、評価規準（3観点評価）を明確にし、各家庭への説明を行い、課題の共有化に努めました。この取組に満足いただけましたか。」の設問で91.5%の保護者の皆様から「満足である」という回答が得られました（回収率72%）。個別指導計画は、個に応じた教育の基本となるもので、年度初めに子供の願い、保護者の願いを聞き取り、それを基に個別の目標を設定しています。その際、府中けやきの森学園では、3観点（「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に向かう態度」）をきちんと意識して目標を設定し、保護者に説明しています。基礎・基本として身に付けた「知識・技能」を基に、児童・生徒が「思考・判断・表現」をすることがこれからの社会を生き抜いていくためには重要だからです。この趣旨を教員がよく理解し、面談等で保護者の皆様に丁寧に指導の前後で説明したことにより、それが伝わり高い評価が得られたと考えられます。これからも高評価に甘んじることなく、本校の教員は子供の今を見抜き、課題は何かを発見する力を付けていくよう努力いたします。

指導の内容・方法も、教科書をはじめ、様々な手作り教材や一人一台端末を活用した学習、進路実現に向けた実習などさらに磨きをかけていきます。また、将来地域で生きる子供たちのため、地域とのかかわり、地域の力を借りた活動にも取り組んでいきたいと考えております。

多様性のある子供たちに合った、子供たちが自分らしく成長していく教育を次年度も実施してまいりますので、引き続き、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

## 学びの成果について

副校長 法月 英里

今年度も技能検定試験、発表、試合など、子供たちが学びや練習の成果を発表する機会がたくさんありました。皆さんの活躍と努力の成果を目の当たりにすることができ、本当に嬉しく思います。試験や発表などの節目を乗り越えた皆さんの輝かしい笑顔には、まさに、ウェルビーイング（自他共によりよく生きる幸福感）の礎があると思いました。

地域との連携においては、今年度初めての取組として、日本財団パラサポと連携した白糸台小学校運動会での「インクルーシブソーラン節」（小・中学部の有志の方の参加）への参加、東京都の笑顔と学びプロジェクトの一貫の「自由な美術活動空間」（B部門卒業生の方の参加）への参加がありました。学校内外の人との出会いにより、子供たちの意欲が高まり、関心や夢が広がったことを実感しました。温かい御指導、御支援に心から感謝申し上げます。

保護者の皆様、地域関係者の皆様、1年間、本当にありがとうございました。

## 卒業・進級の季節に

副校長 宮本 光司

高等部では、生徒の皆さんの名前を呼ぶときに、「〇〇（名字）さん」と言っています。高等部の生徒たちは在学中に18歳の成年年齢を迎え、さらに卒業後の生活では「〇〇さん」と呼ばれることになるからです。そして、この呼び方は、私たちが生徒一人一人の人格を尊重していることの表れでもあります。

卒業する3年生へ、伝えていることがあります。学校時代は「先生と生徒」だったけれども、卒業後は同じ大人の仲間であり、対等な関係であると。御家族の中でも、親子という関係は変わらずとも、時には御家族を支える立場になってほしいと、期待を込めています。

毎年、生徒たちの卒業には、卒業学年担任をはじめとした高等部の教職員一同、特別な思いがあります。自分に合った形の就労、夢に向けた進学、自分が進みたい道を考えながら一步を踏み出し始めた人もいます。良いこともあれば思い通りにならないことも多々あるのが社会です。その社会で自分らしく生活していくための力を少しでも伸ばし、送り出すことができたでしょうか。自問しながら、高等部教育の役割を強く意識するのが、卒業・進級の季節でもあります。

## ウェルビーイングの実現に向けて

副校長 添田 和久

府中けやきの森学園は教育理念に「ウェルビーイングの実現」を掲げています。「ウェルビーイング」は個人の今の幸せや豊かさだけではなく、みんなの幸せ、未来の幸せも考えて、より良い状態になることです。児童・生徒一人一人異なるのであるならば、児童・生徒一人一人、それぞれの「ウェルビーイング」な状態があります。その個人の発達段階や発達課題と関わりながら、自分自身だけでなく、周囲の大人に影響を与えながら、実現されていくものだと考えています。自分の成長が自分だけの喜びではなく、周囲で支えてくれる方々の喜びにもつながり、「自分とみんなの、今から未来への幸せ」につながっていくのではないかと考えています。学校として一人一人の児童・生徒の成長をこれからも支えてまいります。

この1年間、保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

## 春季休業中の生活について

生活指導主任 主幹教諭 梅景 靖之

春季休業日中の過ごし方について、学校でも指導を行いました。4月からの学校生活がよりよい形でスタートできるよう、御家庭でも話題にしていただきますよう、お願いいたします。

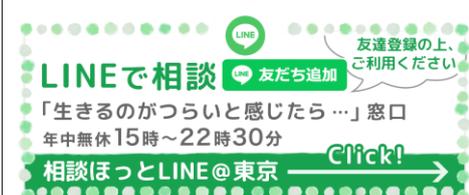
### <生活習慣について>

春季休業中は早寝・早起き、適切な食事を心がけ、生活のリズムを崩さないようにお過ごしください。気候の良い日などは無理のない範囲で外出するなど新年度に向けた体調管理をお願いいたします。また、LINEやSNS等、長時間の利用は生活リズムの乱れにも繋がります。お子様と一緒に「夜〇時以降はスマホを使用しない」等、御家庭でのルールを決めていただき、適切な使用を本人が心掛けられるよう御支援のほどよろしくお願い致します。

### <安心して相談できる環境について>

春季休業中は、期待や希望をもって新しいことにチャレンジする意欲が高まったり、学期中とは異なり自分の好きなことをする時間を多くもてたりする一方で、環境の変化に対する不安や悩みが増す時期でもあります。お子様の生活の広がりを応援しながら、心配なことの解決や、トラブルの未然防止に努めるため、安全な相手に、安心して相談できるよう、御家庭でも必要に応じて相談窓口を御活用ください。(SNS等で知り合った知らない相手に相談して、トラブルなどに巻き込まれるなどの防止にも繋がります。)

何か気になる様子が見られましたら、学校や相談機関に気軽に御相談ください。必要に応じて相談機関や地域の関係機関と連携を図ってまいります。



LINEで相談  
友だち追加  
友だち登録の上、ご利用ください  
「生きるのがつらいと感じたら…」窓口  
年中無休15時～22時30分  
相談ほっとLINE@東京

### 「TOKYOほっとメッセージチャンネル」



※東京都の相談先一覧をまとめたウェブページです。

<生活・交通・災害安全について> ※出かけるときは、災害ポーチの携帯してください。

- ① 一人で外出する時は、必ず行き先や同行者、帰宅時間、連絡方法等をきちんと伝える。
- ② 自転車で外出する場合は、ヘルメットを着用し、交通ルールを守り、交通事故の防止に努める。
- ③ 暴力行為、万引き等、飲酒・喫煙、異性トラブル、無断外泊、深夜徘徊など非行や犯罪等の未然防止に努め、社会の基本的なルールを確認する。
- ④ パソコン、携帯電話、スマートフォン等の情報機器の適切な利用方法を確認する。
- ⑤ 犯罪等に巻き込まれないよう自ら危険回避する力をつける。
- ⑥ 災害時に備え、事前に避難経路や連絡方法を確認し、危険を予測し、回避する力をつける。

## 問合せ

◇平日（午前8時30分から午後5時まで） 042-367-2511（学校の代表番号）